



## 2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 株式会社 ティア  
 コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東名

(氏名) 富安 徳久  
 (氏名) 辻 耕平  
 配当支払開始予定日 2021年6月1日  
 TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	6,385	4.3	733	2.2	723	2.9	489	2.9
2020年9月期第2四半期	6,671	0.3	749	24.0	745	24.3	504	24.9

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 489百万円 ( 2.9%) 2020年9月期第2四半期 504百万円 ( 24.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	21.87	
2020年9月期第2四半期	22.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	13,695	9,194	67.1
2020年9月期	13,468	8,928	66.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 9,194百万円 2020年9月期 8,928百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		10.00		10.00	20.00
2021年9月期		10.00			
2021年9月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	4.0	730	22.6	710	20.9	450	30.2	20.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	22,406,100 株	2020年9月期	22,406,100 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	1,470 株	2020年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	22,404,630 株	2020年9月期2Q	22,403,663 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外需の回復による輸出の増加や、堅調に推移する個人消費等により、持ち直しの動きは見られるものの、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響による、対面型サービス消費の落ち込み等、厳しい状況となりました。また、新型コロナウイルス感染症の帰趨や、内外経済に与える影響の大きさ及び期間、ワクチン接種の普及のペース等、不確実性が高く、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましては、葬儀件数は前年同期と比較して増加し、葬儀単価は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う葬祭規模の縮小及び法要料理の販売減により、大きく低下しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現とその後の持続的な成長を目指すべく、当年度より新たに掲げております「新生ティア」のスローガンのもと、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は愛知県下に「ティア西枇杷島」「ティア甚目寺北」を開設し、リロケーションにより既存会館1店舗を閉鎖いたしました。フランチャイズでは、愛知県下に「ティア豊田土橋」を開設し、これにより直営75店舗、フランチャイズ54店舗の合計129店舗となりました。

売上原価におきましては、葬儀付帯業務の内製化を推進したものの、労務費等が増加し、経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や、TVCMとリアルイベントを連携した営業促進を実施する一方、野立て看板や業務内容の見直し、採用活動の内容変更等の経費削減を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は63億85百万円（前年同期比4.3%減）となり、売上原価率は前年同期比と比べ0.2ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比5.6%減となりました。これにより、営業利益は7億33百万円（同2.2%減）、経常利益では7億23百万円（同2.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億89百万円（同2.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 葬祭事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、新型コロナウイルス感染症の予防および拡散防止対策を講じつつ、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりましたが、第2四半期以降は緊急事態宣言の再発令により会館イベントの開催等が制限されることとなりました。葬儀件数におきましては、既存店の件数が増加したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、前年同期比12.0%増の6,564件となりました。葬儀単価におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により葬祭規模が縮小したのに加え、法要料理の販売が減少し、前年同期比13.1%減となりました。この結果、売上高は61億85百万円（同4.2%減）、営業利益は11億38百万円（同8.5%減）となりました。

#### (b) フランチャイズ事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ5店舗増加し、これによりFC会館向けの物品売上が増加したものの、前年同期に計上した加盟料売上が反動減となり、この結果、売上高は2億円（同5.9%減）、営業利益は31百万円（同40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は39億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億34百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3億43百万円増加したことによるものであります。固定資産は97億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が95百万円、差入保証金が8百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、136億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は27億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が2億7百万円増加したものの、その他流動負債87百万円、1年内返済予定の長期借入金が52百万円減少したことによるものであります。固定負債は17億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億19百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、45億円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は91億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億89百万円および剰余金の配当2億24百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月27日に「第2四半期連結累計期間の業績予想修正に関するお知らせ」を公表し、上半期の業績予想を修正いたしました。当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の影響につきまして、期初の見通しでは2021年9月期上半期まで継続し、下半期以降は改善するものと予想しておりましたが、直近の状況を勘案し当連結会計年度末まで影響が続くものと判断しております。また、下半期に新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や、まん延防止等重点措置の実施及び緊急事態宣言の再発令等がなされた場合、業績予想への影響が想定されます。以上を勘案し、通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2020年11月11日公表しました期初予想を据え置くことといたしました。

【業績予想の前提】

葬祭事業における葬儀単価は、新型コロナウイルス感染症の影響により低下を見込む一方、葬儀件数は既存会館が堅調に推移する見通しに加え、新店の稼働により増加を予想しております。また、フランチャイズ事業におきましては、新規クライアントの開発を積極的に行うとともに、FC会館向け物品販売の拡大を図ってまいります。経費面では葬儀付帯業務の内製化による商品原価率の低減や、業務内容や固定費の見直しといった経費削減を推進する一方で、「新店稼働に伴う固定費」「中長期の出店を見据えた人材確保」等を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,063	3,407
売掛金	337	351
商品	46	59
貯蔵品	48	53
その他	160	118
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,653	3,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,284	6,283
土地	1,516	1,516
その他(純額)	616	520
有形固定資産合計	8,416	8,320
無形固定資産	50	46
投資その他の資産		
差入保証金	899	891
その他	456	454
貸倒引当金	△8	△6
投資その他の資産合計	1,347	1,339
固定資産合計	9,814	9,706
資産合計	13,468	13,695
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	278	302
短期借入金	882	870
1年内返済予定の長期借入金	424	371
未払法人税等	74	281
賞与引当金	195	202
資産除去債務	9	—
その他	792	704
流動負債合計	2,656	2,732
固定負債		
長期借入金	845	726
役員退職慰労引当金	0	0
資産除去債務	648	665
その他	389	375
固定負債合計	1,884	1,768
負債合計	4,540	4,500
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,873	1,873
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	5,548	5,814
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,928	9,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	8,928	9,194
負債純資産合計	13,468	13,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,671	6,385
売上原価	3,944	3,785
売上総利益	2,727	2,600
販売費及び一般管理費	1,977	1,867
営業利益	749	733
営業外収益		
受取利息	2	1
広告料収入	5	8
その他	5	8
営業外収益合計	13	19
営業外費用		
支払利息	13	12
株式交付費	0	—
和解金	3	—
支払手数料	—	13
その他	0	2
営業外費用合計	18	29
経常利益	745	723
税金等調整前四半期純利益	745	723
法人税、住民税及び事業税	251	241
法人税等調整額	△10	△8
法人税等合計	240	233
四半期純利益	504	489
親会社株主に帰属する四半期純利益	504	489

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	504	489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	504	489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	489
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	745	723
減価償却費	289	270
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	6
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	13	12
売上債権の増減額 (△は増加)	5	△14
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12	△19
仕入債務の増減額 (△は減少)	7	24
その他	15	24
小計	1,084	1,025
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△12	△12
法人税等の支払額	△149	△41
営業活動によるキャッシュ・フロー	922	972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	—	6
有形固定資産の取得による支出	△257	△191
無形固定資産の取得による支出	△17	△3
差入保証金の差入による支出	△11	△9
差入保証金の回収による収入	37	18
その他	△0	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249	△192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300	470
短期借入金の返済による支出	△219	△482
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△321	△222
リース債務の返済による支出	△15	△14
配当金の支払額	△134	△224
その他	△0	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△391	△436
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	281	343
現金及び現金同等物の期首残高	2,968	3,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,250	3,407

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,459	212	6,671	—	6,671
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,459	212	6,671	△0	6,671
セグメント利益	1,244	53	1,297	△547	749

(注) 1. セグメント利益の調整額△547百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△547百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,185	200	6,385	—	6,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,185	200	6,385	△0	6,385
セグメント利益	1,138	31	1,170	△436	733

(注) 1. セグメント利益の調整額△436百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△436百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。